

“Daily Maveric” という南アフリカのネットニュースの記事(25 Mar 2022)です。

WAR IN EUROPE

Pretoria’s resolution on providing humanitarian aid to Ukraine is defeated in UN General Assembly

<https://www.dailymaverick.co.za/article/2022-03-25-pretorias-resolution-on-providing-humanitarian-aid-to-ukraine-is-defeated-in-un-general-assembly/>

新聞記事ですから、すぐに消えると思うので、早めのアクセスをおすすめします。

リード

南アフリカは、ロシアへの言及を一切排除した独自の決議案を作成した。「ウクライナへの人道支援を、モスクワの承認を得て、確実にするため」の修正とされる。

以下本文

南アフリカが提案したウクライナへの人道支援に関する決議案は、24日の国連総会で否決された。なぜなら、この決議案は人道危機の原因をロシアに求めなかったからである。

総会はウクライナ(?)の提出した決議案を 140 対 5 の圧倒的多数で承認した。そして、モスクワの責任を真っ向から指弾した。また、即時停戦と数百万人の民間人、および彼らの生存に不可欠な家、学校、病院の保護を強く求めた。

今回の決議案に反対したのは、ロシアの他にはベラルーシ、シリア、北朝鮮、エリトリアだけであった。これらの国は、3月2日の総会決議でもモスクワとともに反対票を投じていた。

今回の採決では、ロシアの同盟国である中国を含め、38の国が棄権した。

南アフリカの決議案

異例のことに、国連総会はウクライナの決議を採択した後、南アフリカの提出した文章にも採決を行った。これはロシアへの言及を一切排除した独自の決議案として作成されたものである。

南アフリカ政府によれば、これは「ウクライナへの人道支援を、モスクワの承認を得て、確実にするため」の修正とされる。

南アフリカの決議案は賛成 50、反対 67 で否決された。

南アフリカ政府関係者は、それほど敗北について落胆はしていない。「欧米諸国はウクライナの決議を支持してもらおうと強力な働きかけを行ったが、自分たちはそれほど活発に動いたわけではない」からだ。

さらに、南アフリカ案はウクライナの決議が採択された後に採決されたため、多くの国が（知るか知らずか）投票しなかったことも念頭に置く必要がある。

南アフリカの決議案は、ロシアに言及しないことを除けば、ほぼウクライナのもの踏襲している。南ア案は、ロシアが決議を受け入れ、実行するようもとめるためである。「ウクライナに人道支援を届けるには、ロシアの承認が不可欠なのだから、ロシアが反対したら意味がない」と、関係者は指摘した。

また南ア政府は、ロシアの侵攻を非難した 3 月 2 日の国連総会決議を一部引用することも提案した。それは南ア案への欧米諸国などの支持を得るためであった。複数の欧米外交官が南ア案を支持した。しかし結局、各国政府はこの提案を拒否した。

これでこの問題は終わらない

南ア政府当局者は、「おそらく、今回の投票でこの問題は終わらないだろう」と述べた。

なぜなら、このような強い批判を込めた人道支援要求を、ロシアはおそらく受け入れないからだ。だから、この問題は総会に戻される可能性が高い。

今回採択された「ウクライナ決議」では、ロシアの侵攻がもたらした「悲惨な人道的結果」を嘆いている。そして、「それは世界が過去数十年間にヨーロッパで経験したことの無い規模」であるとしている。

決議は特に、南部のマリウポリなど人口密度の高い都市へのロシアの砲撃を非難した。そして、安全な人道支援のためのアクセスを要求している。

(ちょっと尻切れトンボですが、これで記事は終わっています。お金入れないとだめなのかな)

.....

「独自の決議案」とされていますが、内容的には修正動議です。動議として認められなかったの
で、すべての議事が終わった後の「おまけ」のような形で提出されたのでしょう。

メディアでは、左右を問わず、とるに足らない動き、ロシアの第五列による宣伝と受け止められて
いますが、ことは決して看過されるべきものではありません。

ウクライナ決議採択への参加国が183カ国であるのに、南ア決議案採択時の参加国は117カ国
にすぎない。なのに賛成国は決議への棄権票を12票も上回っている。

つまり欧米諸国からの強い圧力がなければ、棄権に回りたかった参加国がもっと多かったことが
分かります。そのことを考えると、南ア案はひょっとすると17票差をひっくり返して、成立してしまっ
た可能性もありそうです。

とくに「今回の投票でこの問題は終わらない」という関係者の“捨て台詞”が印象的です。今回は
反人道行為の問題に限った決議ですが、この論理は「停戦・撤退問題」についてもそのまま当て
はまるからです。

大事なことは、事実を淡々と突き出し、理非曲直を明らかにすることすことで、正義を振りかざすこ
とではありません。それは往々にして十字軍的独善となり、両国人民に余計な負荷をかけることにな
ります。

下記をご覧ください

1. [南アフリカ政府「ウクライナ声明」](#)
2. [ウクライナ_ラマポーザ南ア大統領のメッセージ](#)